

第1回きずなづくりトーク（北上小学校区） 概要記録

平成24年5月29日
北上文化プラザ

発言者	発言要旨
テーマ みんなでふれあい創出	
自治会長	八乙女神社で今年から新しい取り組みを始めたい。例えば、徳倉区の子どもを神社に集めて、神社の祭典を盛り上げていきたい。
自治会長	日本人はあまりでしゃばりすぎないことを美德としているが、ふれあい創出についてはよくない。会議中は話さないが、終了後に下駄箱で話し始めるので、会議中に話すべき。各組長には、私が前に出ていきたいとお願いしている。まずは自分を前面に出して、お互いのことを知り合うことで、トークの基礎ができると思う。
連合会区長	戦前・戦後の徳倉区について、徳倉に何があるか、何をしてきたかについて本にまとめている。来年の三月までに完成させたい。
スクールガード	スクールガード会長、支援ボランティア会長、老人会長の3つの会長を兼務している。スクールガード会長は7年間やっているの、今では子ども達があいさつをしてくれるようになった。支援ボランティア会は発足から3年目になり、ボランティアは60名いるが、仕事をしているので昼間はいない。要援護者は17名から37名に増えたので、民生委員と協力して対応した。自主防災会は役員任期が1年なので、継続的に活動できない。芙蓉台老人会は北上小学校の5年生の授業に出席し、給食と一緒に食べた。北上中学校からは2年前から体育祭に招待されており、ピーターパン幼稚園、芙蓉台保育園の子ども達と一緒にゲームをやっている。夏には子ども達と映画鑑賞、輪投げ大会を行い、子ども達と老人がふれあう機会を作っている。
自主防災委員	私が属している1組では、みんなで集まる会合が伝統的にある。高齢者や障害者の状況について頭に入っているが、具体的に何をしていくかは検討中。危機管理課の人が笛を紹介していたが、声を出せない人には便利だと思う。夜に災害が起きたときにどうすればいいかに関心がある。夜対応してもらえる病院は清水町の東部診療センターしかない。災害時の対応について病院に聞くと、渡邊整形は夜対応できないが、芹澤病院は夜対応してくれると言っていたので、芹澤病院を頼ってくれと近所の人に伝えた。水、懐中電灯などを常備しておくべき。
自治会長	付き合いが希薄になっている。個人情報の問題があるので、隣の家の方が元気であるか確認するのが第一歩だと思う。きっかけはあいさつであり、あいさつの輪が大きくなると地域のまとまりができると思う。
体育振興会	昨年の運動会の参加人数は3000人ほどだった。ふれあいは人の集まる場所ができると思うので、運動会はまさにそういう場所。運動会に代わるふれあいの行事が必要だが、アイデアが出てこない。知らない人同士でも皆で話しができるような行事を考えることが大切。
民生委員	民生委員として一人住まいの高齢者と障害者の調査で町を回ったが、災害時の避難場所がはっきりしていないこと気づいた。今回の調査はありがたいという意見があった。町内のお祭りの当番になっているので、皆でふれあいが作れるお祭りにしたい。

発言者	発言要旨
小学校PTA	PTAの取り組みとして、まずは学校、子供、保護者とのつながりを持つようにしている。芙蓉台ではスクールガードが保障してくれるので、新一年生が安全に登校できる。子供、年配の方々、校長、スクールガード、先生とのつながりがすばらしい。もうきずなを創出できる環境が整っているので、今までやってきたことを大切にしつつ、つながりをより強化していく方法が良いと思う。
スポーツ推進委員	ウォーキングを通じ、きずなづくりをしている。年々参加者が増えており、年配の方も増えている。
老人クラブ	徳倉地区全体で協力してやっている。全体的には老人会の人数が減ってきているが、徳倉では努力しているのでここ2,3年で少し増加した。盆踊り、夏祭り、餅配りなどで地域と協力できている。子供たちとの付き合いをもっと増やしたい。徳倉地区では老人会に入っていない高齢者が多いので、ぜひ入会してほしい。地域の方との交流を深め、災害時にはお互いに助け合いたい。明日ゲートボール大会があるので参加してほしい。
保健委員	隣に住む認知症の方が知的障害の子どもの面倒を見ているので、その2人の面倒を見ている。私が関わっていることで、近所の人も協力してくれるようになってきた。雨が降ったときにふとんを一緒に入れてくれて、きずなができたと感じた。
民生委員	5月に高齢者調査をしたが、会うために何十回も訪ねることもあって大変だった。
自治会役員	仕事があるので、今回のような会合に参加したことはほとんどなかったが、皆地域の活動に熱心であることを知れてよかった。会社では挨拶に力を入れている。町内でも子供が進んであいさつしてくれるなど、良い雰囲気はある。
小学校長	日頃から子供たちは地域の皆様に見守っていただいているのですくすく育っている。子供たちはあいさつがよくできているが、これは地域の皆様の普段の声かけのおかげ。子供たちの良さをもっと伸ばしていきたいので、PTAの方々など地域の皆でほめてあげてほしい。日頃から学校の職員に言っていることは、授業の中で地域に出るようにすることを進めている。子供たちには地域の人からいろんなことを学んで地域の良さを知り、北上で育ってよかったと思ってもらいたい。
スポーツ推進委員	組長が変わるとき、役員全員を呼んで引継ぎ会を行っている。他の組では年に一回食事会を行っているようである。町内全体だと規模が大きくなってしまっているので、組ごとに食事会などの活動を行うとよいのでは。
自主防災委員	おせっかいにならないように、周りの家族のことをよく知って広がりを作っていけるとよいのでは。見て見ぬふりをせず、災害時に一声かけるなど日頃の行いが大切だと思う。
スポーツ推進委員	スポーツ推進委員は2期目になる。足かけ20年になるが、皆に世話になった。地域スポーツによりいろいろな人と知り合えたのがよかった。最近は30、40代の若手が役員をやるようになってきている。徳倉地区全体で芋掘り大会を行い、200~300人集まった。今後は参加者に来てもらうだけでなく、こちらから出向いてニュースポーツ等を紹介したい。
自治会長	学校の通学路の草取りを町内会で行った。自分で取るのには限界がある。
自治会長	向こう三軒両隣は大切。隣のご主人の名前をフルネームで言えるだろうか。フルネームをいろんな人に尋ねる活動をしてみたい。
自治会長	あいさつが大切。

発言者	発言要旨
小学校PTA	大人から子供に積極的に声をかけることを長年続けた結果、思春期の子供でもあいさつができています。大人同士でもあいさつした方が良い。子供がいる時に大人同士があいさつをすると、子供はその大人と知り合いになれるし、その姿勢を見習うことができる。子供同士があいさつすると親はその子供を知ることができる。ゴミ出しの時はあいさつの機会。高齢者が一人でゴミ出しをしているが、若い人と一緒に住んでないようなので心配。芋掘り、運動会などのふれあう機会は作れる人が作っていくべき。出る杭は打たれる風潮があり、若者は引っ込んでると言われることもあるが、へこんでいてはいけない。子ども会の人数が減っている。徳倉の方では子ども会への強制参加を促しているようである。会員が少なくなると役員が回ってくる機会が増えてしまい、負担になって辞めてしまうという悪循環が起こるので、強制力も必要になってくると思う。
小学校PTA	任期1年は辛い。わかり始めた頃にやめなければならず、次にやる人はわからない。芙蓉台には7年間続けてくれている人がいるのがすばらしい。新しく役員をやる人の指導をしてくれる。7年続けたことでふれあいが生まれたので、1年間ではできない。
自治会長	任期の長い短いにはメリット・デメリットがある。任期が長い人が突然いなくなってしまうと大変。萩では1年制でやっているが、広く浅く知れるということもある。どちらがいいかは判断できない。
自治会長	任期1年は経験するだけになるので、複数年はやるべきだが、5年、10年では長すぎて弊害が生まれると思う。習い事、スポーツクラブ活動が大変で、子ども達が子ども会に入れない。バス旅行などで地域の子供と交流できるから、本音では入りたいのと思う。芙蓉台の福祉部で70食を用意して地域の高齢者と食事会をやっている。参加者は昔の子ども会の仲間が多い。子ども会で同じ役員をやっていたというつながりが10年、20年後に地域の結びつきを作ってくれる。要援護者が年々増加することが予想されるので、歩ける人については組長がチェックするようにすることを考えている。自治会長と民生委員の要望によって登録する方式に変えることを検討している。
スクールガード	子どもは地域の宝事業の対象は9人いて、同意したのは4人だった。感想としてはおもしろい。若くて親と同居していない母親は子どもをどのように育てているのかわからないので、地域の役員と集まりを開いて情報交換を行った。昔は地域の老人が教えてくれたのだが、今はそういう機会がない。ネットや本で調べる方法もあるが、実際の体験談を聞けるのがいいと思った。その会では、参加する子どもに対して自分の孫のように思っ接していきたい。
自主防災委員	青木橋のすこやかセンターは市営でやっているそうだが、そこから出てくる老人はとても楽しそうな表情をしている。一日家にこもっている人の表情とはまったく違う。人と付き合うことが大事。来る人が固定されているのは残念。